

## 現状の課題の整理

### 1 市民のスポーツ実施率の状況

数値目標：市民のスポーツ実施率を70%に引き上げる

狛江市スポーツ推進計画（令和3年度～令和7年度）

令和2年1月…60.1%

令和2年5月…69.6%

令和3年5月…67.7%

令和4年5月…65.0%・・・コロナ禍により利用を控え方が戻り切っていない。

### 2 課題

#### （1）施設

体育施設の数が不足しており、地域間（小田急線南北）で差がある。特に、スタジアムや大きな競技場やボール遊びができる場所が少ないが、土地や財政面の問題で、さらに既存の施設の老朽化の対応も必要な状況であり、新規の体育施設の建設は難しい状況である。また、新型コロナウイルス感染症予防対策をしながらの施設利用の促進も課題となる。

#### （2）機会

時に実施率の低い子育て世代や働き世代等日常的に時間が取れない人が新たに運動を始めるきっかけづくりや、場所を選ばない運動方法の検討、団体や仲間づくりが必要である。また、利用の適正化を進めることで、より多くの人が施設を使える機会を確保することが求められる。

#### （3）人材

部活動の地域移行が進み、スポーツ種目も多様化している中で、指導者の高齢化が進んでおり、指導者の確保が必要となっている。市内での潜在的な人材の掘り起こしや近隣の大学やプロスポーツチームなどとの連携が求められる。